

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

スローガン

持てる資源を最大限に活かし製造実力の向上で、ゆるぎないコスト競争力の確立、新たな商品価値の創造と資源循環の担い手としての企業価値向上を目指す。

売上高
2,250億円

経常利益
160億円

ROS
7.0%

ROE
8%以上

2 中長期の経営戦略

1. 国内需要対応と輸出強化

需要見合いの生産で再生産可能な販売価格を維持し、生産余力を活用した鋼片・鋼材輸出に注力して収益基盤を強化。

3. 競争力確保と経営体質構築

製品の品質・コスト競争力確保と財務体質強化で、電炉会社に相応しい経営体質を構築。

2. 多様な条鋼類の製造販売

線材・形鋼・構造用鋼・鉄筋棒鋼等の多様な条鋼類製造販売で安定的な収益確保。

4. 6拠点体制による効率化

朝日工業(株)、三星金属工業(株)、(株)トーカイを含めた6製造拠点による業務効率化、営業力強化、資産有効活用推進。

3 対処すべき課題

① 厳しい事業環境への対応

- ・ 2025年度の電力価格値上げと物流等諸コスト増加に対応
- ・ 米国諸施策の影響が不透明な状況で事業環境変化に速やかに対応

② グループシナジー最大化

- ・ 朝日工業(株)等との連携強化で一体的運営と最適生産体制追求
- ・ 6製造拠点の製鋼・圧延技術交流で高付加価値品の製造技術向上
- ・ 購買情報共有化等による調達効率向上

③ 脱炭素・DX・人財対応

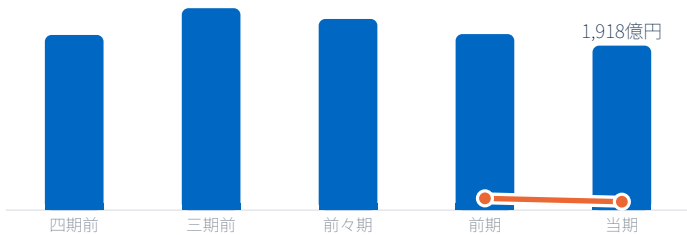
- ・ 省エネルギー投資とカーボンニュートラル実現施策を実行
- ・ DXの推進、人的資本への投資、BCP対応に注力

面接で使えるポイント

- ・ 普通鋼電炉業界の厳しい環境下で、2022年度・2023年度に中期ビジョンの収益目標を超過達成した実績と…
- ・ 売上高2,250億円、経常利益160億円の2025年度目標に向けて、最適生産・出荷体制の追求と営業力強化…
- ・ 電炉メーカーとして鉄鋼リサイクルシステムの一翼を担い、省資源・省エネルギーに貢献しながら…

証券コード 5410

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,918億円

営業利益率
5.1%

財務健康度
46点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 56.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
778万円
鉄鋼内 12位/38社

平均年齢
40.6歳
鉄鋼内 26位/38社

平均勤続
18.4年
鉄鋼内 13位/38社

女性管理職
1.3%
鉄鋼内 27位/32社

男性育休
83.3%
鉄鋼内 13位/32社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
鉄鋼事業と農業資材事業を主力とする上場企業

主力事業・セグメント

- ・金属 93.2%
- ・Agricultural素材 6.8%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高1,918億円の事業規模
- ・平均勤続18.4年と定着率が高い
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

